

博士課程教育リーディングプログラムに関する学生調査（案）

文部科学省
独立行政法人日本学術振興会

- この調査は博士課程教育リーディングプログラム（以下、「リーディングプログラム」という。）に採択されたプログラム（以下、「プログラム」という。）を受講する皆さん（大学により各プログラムに選抜された学生）が、当該プログラムのもとでどのように学修・生活しているのかを明らかにし、リーディング大学院のあるべき姿を検討する上での基礎資料とするとともに、各プログラムの評価に活用するなどして、皆さんが在籍するプログラムでの教育改善にも役立て、さらには文部科学省による大学院教育の振興施策の検討などに活用することを目的としています。
- いただいた回答はすべて統計的に処理され、個人についての情報が他の目的で使われることはありません。
- この調査は各大学の協力のもとに、文部科学省の指導の下、独立行政法人日本学術振興会が委託する（株）〇〇〇〇が行うものです。
- 調査結果については、プログラムの改善に資するため当該大学に対し、個人が特定されない等、適当と考えられる範囲において評価終了後に情報提供を行うとともに、単純集計した結果については、公表することもあります。

<博士課程教育リーディングプログラムとは>

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産学官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院（リーディング大学院）の形成を推進する事業です。

本アンケートに関するお問い合わせ先

（株）〇〇〇〇

電話：

FAX：

e-mail：

◆ あなたの所属等

- ・大学名

- ・所属研究科専攻名

- ・年齢

- ・性別
 - 1. 男 2. 女

- ・受講するプログラムの名称

- ・プログラムへの参加開始時期
 - 1. 2011年度（平成23年度）から 2. 2012年度（平成24年度）から
 - 3. 2013年度（平成25年度）から 4. 2014年度（平成26年度）から

- ・現在の学年
 - 1. 大学院1年次（M1） 2. 大学院2年次（M2） 3. 大学院3年次（D1）
 - 4. 大学院4年次（D2） 5. 大学院5年次（D3） 6. 医歯薬獣医学系大学院1年次
 - 7. 医歯薬獣医学系大学院2年次 8. 医歯薬獣医学系大学院3年次
 - 9. 医歯薬獣医学系大学院4年次 10. その他

- ・現在、所属している大学院（博士課程教育リーディングプログラム実施大学院）の入学前の状況
 - 1. 現在所属している大学院と同一の大学に所属
 - 2. 現在所属している大学院とは別の大学等に所属

- ・その他属性（当てはまるものすべてに記入）
 - 1. 留学生
 - 2. 社会人を経験
 - ※「2」を記入した者は以下について当てはまるものに記入
 - ① 現在、正規の職員として企業等に所属している
 - ② 過去に正規の職員として就職していたが、現在は、退職して学業に専念している

- ・学位論文の執筆を予定している研究テーマの分野
 - 1. 総合系（情報学、環境学、複合領域）
 - 2. 人文社会系（総合人文社会、人文学、社会科学）
 - 3. 理工系（総合理工、数物系科学、化学、工学）
 - 4. 生物系（総合生物、生物学、農学（獣医を含む）、医歯薬学）

問1 あなたの将来のキャリアパスの実現のために有用だったプログラム上の活動等は何ですか。

	有用か			
	非常に有用	どちらとも言えない	有用ではない	まだ行っていない
① 主専攻以外の分野の授業等の履修				
② プロジェクト形式による授業や課題				
③ 研究室ローテーション ※名称は問わない				
④ 国内の民間企業又は官庁、国際機関等へのインターンシップ (概ね1月以上)				
⑤ 海外の民間企業又は官庁、国際機関等へのインターンシップ (概ね1月以上)				
⑥ 留学				
⑦ 異分野の学生間で切磋琢磨できる環境 例：学生の交流スペース、 合同のセミナー 等				
⑧ 産業界、官界、NPO、国際機関等アカデミア以外のキャリアパス具体化のための支援 例：産学共同研究、産業界等の講師を招いたセミナー 等				
⑨ ICTを活用した遠隔授業				
⑩ メンター等による授業外のサポート				
⑪ 奨励金等大学からの金銭的支援				

問2 プログラム（本プログラムの下で行われる自身が所属する専攻等の教育研究を含む）受講によって、どのような能力が向上したと思いますか。また、問1にある①～⑪のどの活動によって主に身についたと思いますか。

	向上した（かなりの成果があった、自信がついた）	向上に寄与したプログラム上の活動（①～⑪から選んで番号を記入）	やや向上した（多少の成果があった、自信がついた）	向上していない（ほとんど成果がない、自信がついていない）
専門性の深化				
高い国際性の涵養				
自らの専門以外の分野の幅広い知識等の獲得				
物事を俯瞰し本質を見抜く力				
課題を発見し解決に挑む力				
独創的な能力の向上				
他者と協働する力の向上				
その他（具体的に： 例：時間管理能力、コスト意識の獲得、忍耐力など				

問3-1 あなたが所属するプログラムでは、プログラムに参加する教員の間でプログラムについての理解が共有されていると思いますか。

1. ほぼ共有されている
2. 概ね共有されている
3. ある程度共有されている
4. あまり共有されていない
5. ほとんど共有されていない

問3-2 あなたの指導教員や研究室のスタッフも含め、プログラムに参加していない教員等は、あなたが所属するプログラムの目的を理解し、あなたがプログラムに参加することに協力的ですか。

1. とても協力的
2. ある程度協力的
3. あまり協力的でない
4. 指導教員や研究室がまだ決まっていない

問4 修了後の進路についてどのような希望をもっていますか。

	大学院入学時 (いくつでも○)	現在の希望 (いくつでも○)	既に進路が 決定している (1つだけ○)
民間企業に就職したい (研究者以外として)			
民間企業に就職したい (研究者として)			
官公庁に就職したい			
国際機関に就職したい			
NPO・NGO等 (「官」以外の公共財・サービスの提供主体) に就職したい			
医師、弁護士などの専門職に就きたい			
起業したい			
大学 (海外を含む) に研究者として就職したい			
その他公的研究機関 (海外を含む) に研究者として就職したい			
その他 (具体的に:)			
決めていない			

問5 あなたが所属するプログラムについて、感想、ご意見を自由に記入してください。

(例)

- ・メンターやメンターの人的ネットワークを通じた様々な交流から刺激を受けている
- ・プログラムと所属専攻それぞれの履修要件を満たす必要があるためコースワークの負担が大きい など

問5 あなたが、産学官民（※）にわたりグローバルに活躍するリーダーとなるために所属するプログラムにおいて行った主体的な活動、及びその成果について自由にアピールしてください。
（※「民」とは、NPO など「官」以外の公共財・サービスの提供主体を指します。）

調査項目はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。